

ブナオ山観察舎周辺で石川県から 2 例目となる

カネノクモガタガガンボの記録

中 田 勝 之^{*1}・中 村 剛 之^{*2}

^{*1}石川県白山自然保護センター・^{*2}弘前大学農学生命科学部附属 白神自然環境研究センター

A Record of the *Chionea kanenoi*, the second case from Ishikawa Prefecture, around the Bunao Mountain Observation Building

Katsuyuki NAKATA^{*1}, Takeyuki NAKAMURA^{*2}

^{*1}*Hakusan Nature Conservation Center, Ishikawa, Japan,*

^{*2}*The Shirakami Research Center for Environmental Sciences, Hirosaki University, Aomori, Japan,*

2026 年 1 月、石川県白山市尾添のブナオ山観察舎周辺の雪上で石川県から 2 例目となるカネノクモガタガガンボを採集した。本種はブナオ山観察舎周辺では 2025~2026 年の冬季間の調査期間中に 1 個体が採集されているのみで、生態情報も不明であることから引き続き調査を継続していく必要がある。

はじめに

カネノクモガタガガンボが属するクモガタガガンボ属 *Chionea* は、全北区に広く分布するヒメガガンボの一群で、日本国内からこれまでに以下の 5 種が記録されている。

- *Chionea nipponica* Alexander, 1932
ニッポンクモガタガガンボ
- *Chionea crassipes gracilistyla* Alexander, 1936
チビクモガタガガンボ
- *Chionea kanenoi* Sasakawa, 1986
カネノクモガタガガンボ
- *Chionea mirabilis* Vanin, 2008
和名なし (田悟, 2015; 廣瀬ほか, 2025)
- *Chionea* sp. (*C.araneoides*, sensu Matsumura, 1915)
和名なし

このうち、松村(1915)が札幌から *C.araneoides* と

して記録したものは Alexander(1932)、笹川 (1988) などによって誤同定であり、後に記載されたニッポンクモガタガガンボと同じ種であるとされていた。しかし、第 2 著者の中村が調査したところ、北海道からニッポンクモガタガガンボと考えられる種は確認されないことから、正体が不明ながら、国内から記録されている第 5 の種と考えられる。

いずれも雌雄共に前翅が退化し、後翅はハエ目特有の平均棍となっている。そのため、一見すると地表徘徊性のクモのような外見をしており、冬の降雪期に積雪の上を歩き回る姿で観察されることが一般的である (中村, 2025)。

さて、大石 (2015) は、カネノクモガタガガンボについて、本種のタイプ産地が京都であり学術的に貴重な種として京都府レッドデータブック 2015 の要注目種として選定した。また、その形態として、全体黄褐色で、前翅は退化して疣状の痕跡をとどめるのみで近縁のニッポンクモガタガガンボとは触角

の環節数等で区別されることを述べている。また、分布は本州（滋賀県、奈良県）、九州（大分県）としている。生態的特性として幼虫は不明であり、成虫は厳冬期に現れて活動する点や翅が退化して移動が限られるため、生息地の保全が必要としている。

今回、石川県から2例目となるブナオ山観察舎（以下、「観察舎」とする。）周辺の雪上を歩く本種のオス1個体が採集されたので、報告する。

方法

1. 調査地

調査地である観察舎は、図1のとおり石川県白山市の白山麓の手取川支流の尾添川左岸に位置し、石川県立白山一里野自然公園区域内である。

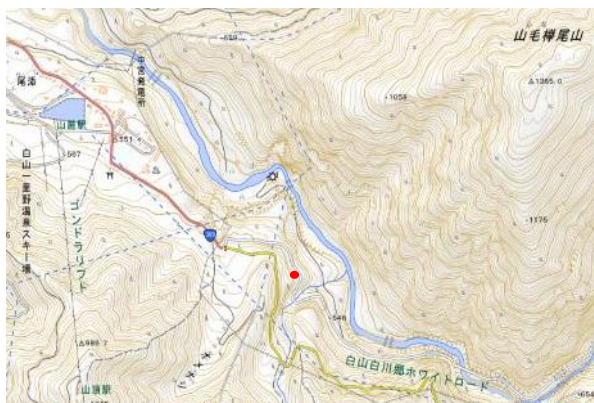


図1 赤丸が調査地（観察舎周辺）の位置
国土地理院地図を加工して作成。

なお、観察舎周辺の植生は落葉広葉樹が主体であり、対岸のブナオ山の大部分は白山国立公園区域となっており、名前のとおりブナ林のほか高茎草原が優占する。

因みに白山麓全体が全国でも有数の豪雪地帯であり、観察舎周辺も同様で、例えば2025年2月の最大積雪深は350cmであった。

2. 調査方法

毎年11月20日から翌年5月5日までを開館期間において2022～2026年を調査期間として、積雪時に観察舎周辺を歩いて採した。

調査時間は開館時間の10時から16時の任意の時間として、雪上を歩くクモガタガガンボ類を殺虫管

で採集した。

結果

1. カネノクモガタガガンボの採集記録

2026年1月18日午前9時頃、第1著者の中田が観察舎周辺の雪上を歩くクモガタガガンボ属のオス1個体を採集した（図2, 3）。その際、右手で採集した個体を左手の上に乗せると素早く肘の方向に歩



図2, 3 観察舎周辺の雪上で確認された
カネノクモガタガガンボ

く様子が観察された。

その後、第2著者の中村がHolotype標本との比較の上、本個体を *C. kanenoi* と同定した。交尾器の特徴のほか、脚の直立毛が密であること、退化した翅が他種よりも細長いことで、北陸地方に生息する他の種とは区別することができる（図4, 5）。



図4 カネノクモガタガガンボのオス全形図



図5 カネノクモガタガガンボのオス頭部

2. 石川県におけるクモガタガガンボ属の研究史

Tanida (1987) は、1982年の冬に石川県白山市尾添の白山麓一里野の雪上で採集されたクモガタガガンボの雌成虫の形態などを記載した。また、雄の成虫が得られていないことや、日本から記録されている3種の雌成虫の区別点が明らかでないことから、この雌成虫は同定できないとしている。なお、本属は石川県ないし白山地域からは初めて記録されたものであり、生物地理的にも生態的にも興味深いため、今後さらに標本を集めて種名の確定を行うことが必要であろうとしている。

その後、金野・根来 (2010) は、クモガタガガンボ属について、分類が未完成の属であり、未記載種の存在も知られているとしたうえで、2003年2月に石川県(白山市)鳥越町阿手から三ツ瀬で、石川県から本属の初記録となるカネノクモガタガガンボのオス1個体を記録している。

平松・南出 (2017) では、観察舎周辺で撮影されたクモガタガガンボ属の写真が発表されている。

そして、2023年と2024年の1月に観察舎周辺でそれぞれ1個体ずつが採集され、加藤大智博士(当時、十日町市立里山科学館)に標本を確認してもらったところ、2個体ともにメスのためクモガタガガンボ属の1種と同定とされた(中田, 2026 未発表)。

考察

石川県においては、前述のTanida (1987) や平松・南出 (2017)、(中田, 2026 未発表) のクモガタガガ

ンボ属がメス個体であることなどから本種かどうか不明である。

また、幼虫に関する情報もなく、生態的特性として本種については甚だ調査不足であるといえよう。

そのため、引き続き本種を含むクモガタガガンボ属の調査を継続する必要がある。

結論

今回、石川県から2例目となるカネノクモガタガガンボを記録することができた。

2022年から2026年の調査期間中、オスが1個体のみ採集されているだけであり、生態情報も全く不明であることから引き続き調査を継続していく必要がある。

謝辞

本種の採集に協力いただいた白山自然ガイドボランティア各位、文献について情報提供をいただいた石川県白山市の川瀬英夫氏にこの場を借りて感謝申し上げます。

参考文献

- Alexander, C.P. (1932) New or little-known Tipulidae from eastern Asia (Diptera). X. *Philipp. J. Sci.* 49: 105–136.
- 笹川満廣 (1988) 積雪上にみられるガガンボとユスリカ. *日本の生物* 2(11): 48–54
- 松村松年 (1915) 昆虫分類学 下巻. 316 p. 警醒社書店, 東京.
- 平松新一・南出洋 (2017) 冬の昆虫たち. はくさん, 44 (3): 表紙.
- 廣瀬環・廣瀬誠・加藤大智 (2025) クモガタガガンボ属の1種 *Chionea mirabilis* Vanin, 2008 (ヒメガガンボ科) の日本国内3地点目の記録. はなあぶ, 60: 6–7.
- 金野晋・根来尚 (2010) (短報) クモガタガガンボ類の富山県における追加記録. 富山市科学博物館研究報告, 33: 103.
- 中村剛之 (2025) 雪の中で暮らす日本産クモガタガガンボ属 *Chionea* の多様性 (Diptera, Limoniidae). 日本昆虫学会

第85回大会プログラム・講演要旨集, pp. 52.

大石久志 (2015) 双翅 (ハエ) 目 ガガンボ科カネノクモガタ
ガガンボ. 京都府レッドデータブック 2015. [https://www.p
ref.kyoto.jp/kankyo/rdb/bio/db/ins0390.html](https://www.pref.kyoto.jp/kankyo/rdb/bio/db/ins0390.html) (2026年
2月1日閲覧).

田悟敏弘 (2015) 埼玉県におけるクモガタガガンボ類及び短
翅ガガンボモドキの記録. 寄せ蛾記, 157:30-32.

谷田一三 (1987) 白山麓で採集されたクモガタガガンボ (ユ
キガガンボ) *Chionea* sp. (昆虫; 双翅目) の雌成虫 (英
文). 石川県白山自然保護センター研究報告, 14:43-46.